

## 転勤時の仕事についてのアンケート 調査報告書

株式会社デンソーが行う「プロボノプログラム」で、転勤ノオトと株式会社デンソーが協働で転勤妻のニーズを調査しました。

ご主人の転勤によって、転勤妻の仕事や生活への大きな影響があると考えます。そのような中での問題を探し出す目的として、アンケートを実施しました。

### ★要約★

30～40代の女性が多くを占め、未就学児の子供を持つ家庭である。

転勤は富山・東京・名古屋と中部地方が多いものの、全国的になっている。多くは家族帯同で、生活している。3年以内の転勤が多く、短いスパンでの引っ越しをしている。

回答者の多くは転勤前に正規雇用での労働の経験があり、資格や経験など自分の強味を持っている。

転勤先で仕事がない間は、地域とのつながりが弱く感じる人が多い。

41.6%の人がご主人との仕事に対する考え方の差があり、「専業主婦でいてほしい」など、回答者が仕事のことへの消極的な回答が多い。

転勤による生活への影響で、ご主人あるいはご家族が転職を考えたことがある人が半数近くいる。

回答者は暮らしと両立できる外での仕事を多くが求めている。仕事をせず家族中心と答えた1.0%以外の方は、なんらかの仕事を求めている。

就業中で望んだ仕事以外に就いた人は「子供の事情」で就けなかったとの理由が最も多かった。

また求職中で望んだ仕事を得られていない人では「手助けがないので、家事と仕事の両立が難しい」という理由が多かった。

回答者の望む仕事に就くためには、「子供の事情」や「手助け」が大きなポイントになる。

いま現在仕事をしていなくても「子育てがひと段落ついたとき」に「現在の生活と両立できる外での仕事」を始めたいと考えている人が多い。多くが準備として「求人情報の閲覧」と情報収集を行っている。

転勤生活で仕事以外で悩んでいることとして、最も多いのは子供関連のこと。学校・幼稚園・保育園の情報から、子供自身の友達関係・不安・馴染めるか・孤独など情緒面での不安も多い。

回答者自身の友人関係やお金・ご主人との関係、親の介護の悩みもある。

転勤生活の中で利用したいサービスは交流会・ツアー・イベントなど、直接転勤者同士、地域の人と触れ合えるイベントを求めている。

また、転勤先での情報のほか、仕事の紹介・就職マッチング・セミナーなど就職活動に必要な情報も多く求めている。

HPであると嬉しい情報は転勤・地域が多く、幼稚園・保育園・遊び場・病院・買い物などなどより生活に密着

した詳しい情報も求めている。また転勤族が地域と交流できるような情報も求めている。

### [調査概要]

#### ・実施方法

インターネットでのアンケートフォームに回答。無記名形式。

#### ・回答者数

102名 うち有効回答数 101

#### ・対象者

ご主人の転勤に帯同または単身赴任中の方、もしくは過去にそのような経験があった方。

#### ・調査期間

2019年2月18日～3月14日

#### ・実施者

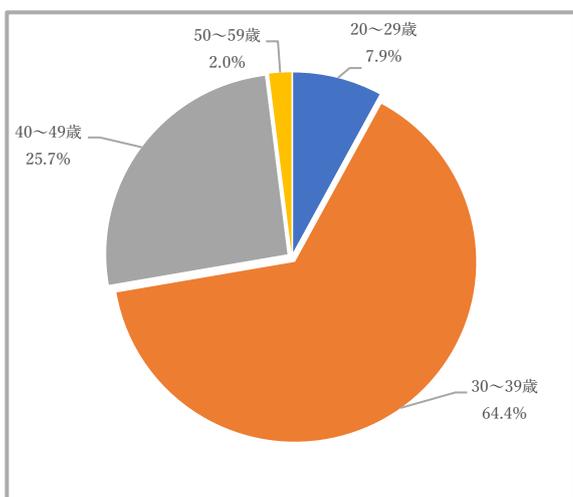
転勤ノオト

### [回答者属性]

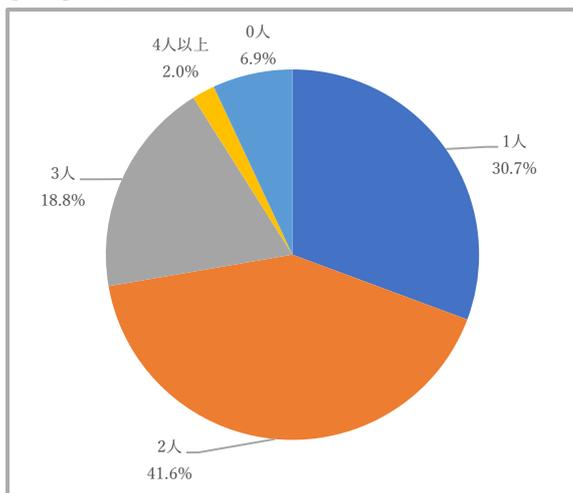
30代～40代の女性が多くを占め、子育て中のご主人が転勤をしている・していたという方が回答。

年齢は30～39歳 64.4%、40～49歳 25.7%が多く[図1]、大半は1人以上の子供のいる家庭[図2]である。その子供の多くは未就学児[図3]の子育て中である。

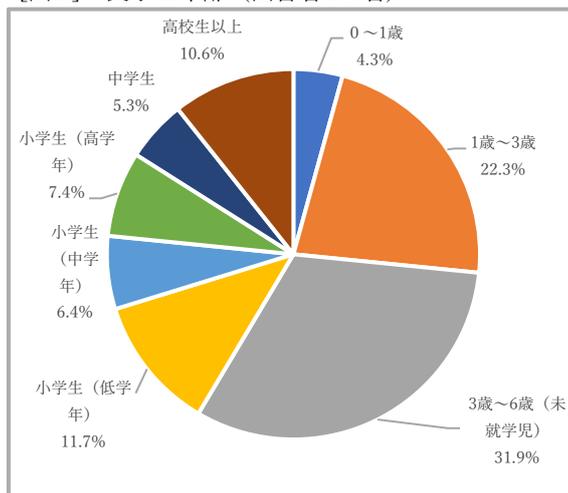
[図1] 回答者の年齢



[図2] 子供の数



[図3] 長子の年齢 (回答者 94名)

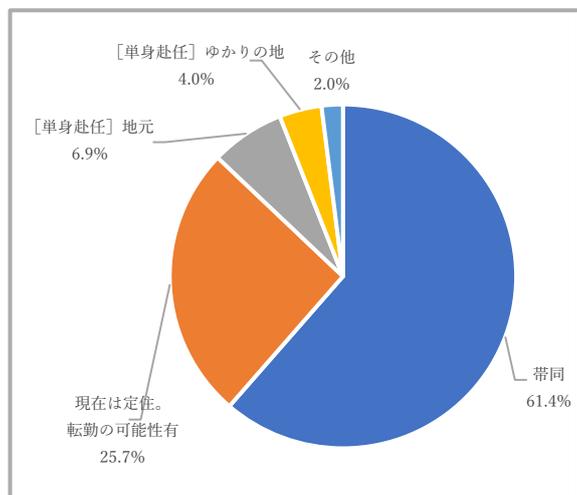


64.1%が現在ご主人の転勤に帯同しており、定住していると回答した25.7%と合わせて、89.1%の人がご主人と同居している[図4]。

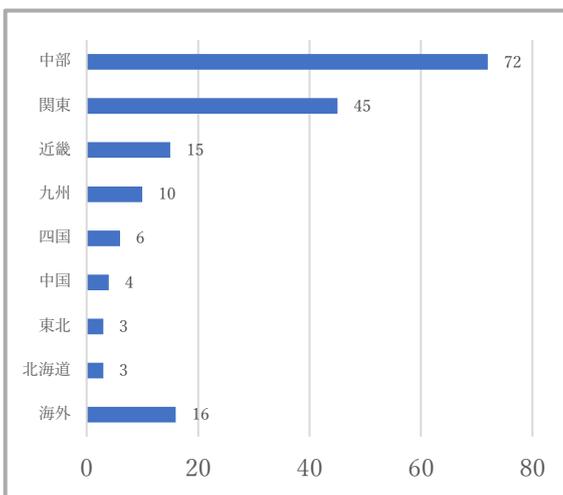
転勤経験地では中部地方を中心に全国へ転勤があることがわかった。また海外への転勤もあった[図5]。

転勤の頻度は半年以内2.0%、1年2.0%、2年9.9%、3年34.7%と、3年以内になるケースが約半数を占め短いスパンでの転勤が多いことがわかる[図6]。

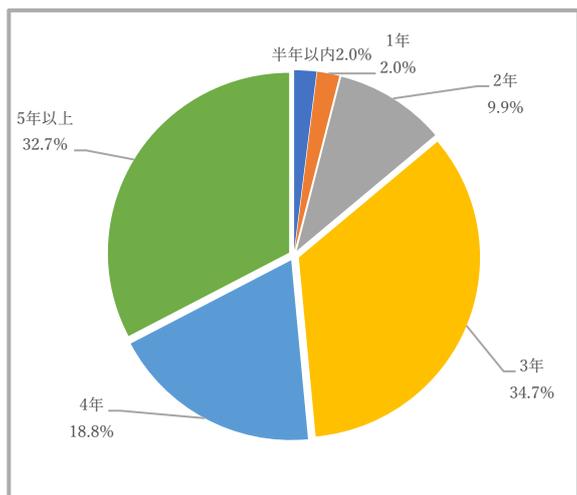
【図4】 現在の状況



【図5】 転勤した場所（回答者101名、複数回答）



【図6】 転勤の頻度

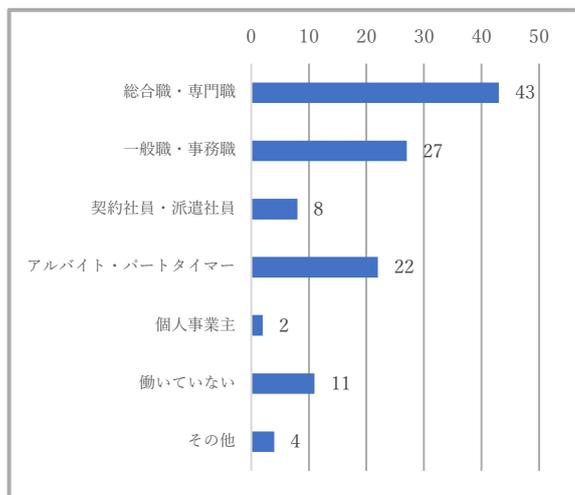


ご主人の勤務先は、製造業・金融業・公務員・建設業が多く、サービス業・人材派遣・運送業・林業・通信業など様々な業種がある。自動車関連や医療関係・教育関係など、業種・職種共に多岐にわたる。

## [回答者の仕事の経験]

転職前の仕事では総合職・専門職が42.6%と最も多く、次に一般職・事務職26.3%と合わせ正規雇用の経験が多く、働いていない人10.9%を除くと大半の方が働いていたことがわった [図7]。

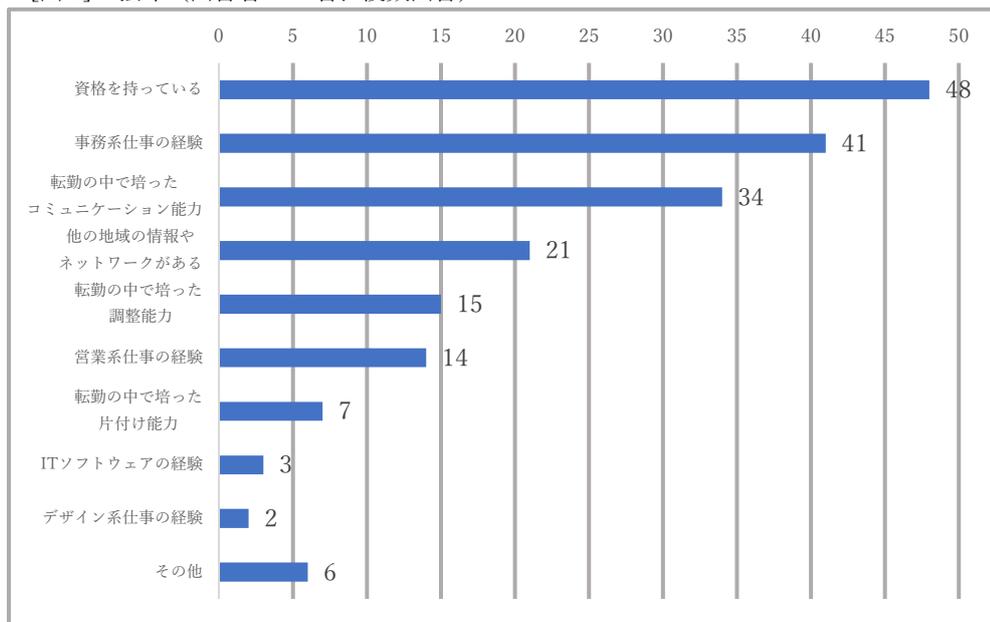
[図7] 転職前の仕事 (回答者101名、複数回答)



ご自身の強味をお伺いしたところ、資格を持っているが48人で半数近くの方が資格を挙げている。保有資格には医師・看護師・助産師・歯科衛生士などの医療系の次に、簿記・宅地建物取引士・AFP・社会保険労務士・司書・芸員などの事務系、保育士・幼稚園教員・教員免許・チャイルドコーチングアドバイザーなど教育系も多い。他にも巻き寿司講師・アイシングクッキー・アロマ・ブルドーザー・整理収納アドバイザー・薬膳コーディネーターなど内容は多彩である。

強味では転職の中で培ったコミュニケーション能力34人・調整能力15人・片付け能力7人や、他の地域の情報やネットワーク21人など、転職の経験で得た強味を感じている人も多くいたことがわかった。[図8]

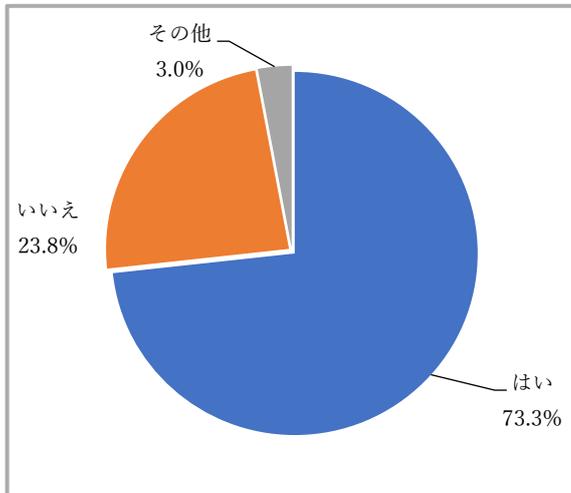
[図8] 強味 (回答者101名、複数回答)



[転勤による仕事への影響]

転勤先で仕事に就くまでのあいだ地域・社会とのつながりが弱くなると感じた人は73.3%で、多くの人が仕事によって得られるつながりがあると感じている [図9]。

[図9] 転勤先で就職までの地域・社会とつながりが弱くなったか。



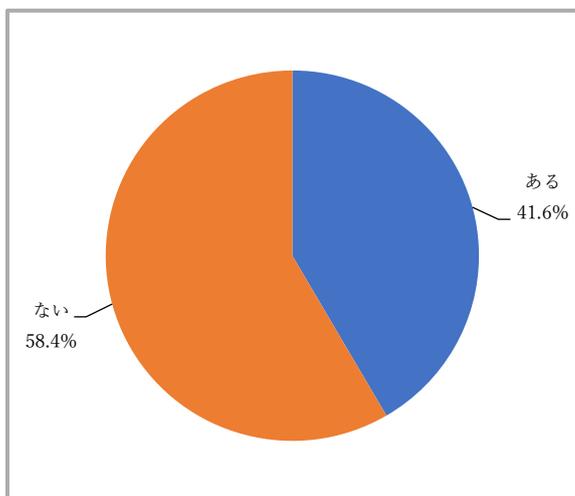
転勤に関する悩みの中で仕事に関する悩みを割合でお伺いしたところ、8割19人18.8%、7割13人12.9%と回答でしたが、偏りは見られなかった [図10]。

[図10] 転勤の悩みの中で、仕事の悩みは何割を占めるか



回答者とご主人の仕事に対する考え方の差は41.6%の人が感じており [図 11]、その差の内容をお伺いしたところ（回答数 40 人）専業主婦でいてほしい・主婦なので無理に仕事をしなくてもいい・仕事はそこそこでよい等が 14 人、パートの仕事は大した仕事ではない・妻の仕事に期待しない・暇つぶし程度などが 14 人、仕事をしながらの家事育児は当たり前と考えているところ 1 人、できるだけ稼いでほしい 4 人と、大半がご主人は家事・家族を優先してほしいが、回答者は仕事をしたいと思っている考えの差がある。

[図 11] 仕事に対するご主人との考え方の差



転職がご主人・家族の負担になることで転職を考えたことがあるかお伺いしたところ、ご主人・家族共にいいえが 53.8%と最も多く、続いてご主人は考えたことがない・ご家族は考えたことがあるが 21.2%となっている [図 12]。半数近くがご主人・ご家族どちらか、あるいは両方が転職について考えたことがある、ということがわかった。

[図 12] 転職を考えたことがあるか

		ご主人	
		はい	いいえ
ご家族	はい	17.3%	21.2%
	いいえ	7.7%	53.8%

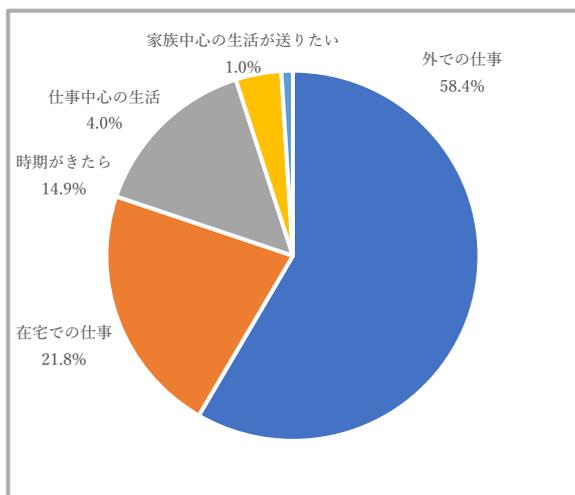
### [回答者の求める仕事と問題]

求める働き方で一番多いのは「現在の暮らしと両立できる外での仕事」58.4%と最も多く、次いで「現在の暮らしと両立できる在宅の仕事」21.8%だった[図 13]。4分の3以上が現在の暮らしとの両立を望んでいる。また「仕事はせず、家族中心の生活」が1.0%と、ほぼ全員に近い人が働きたいと思っていることがわかる。

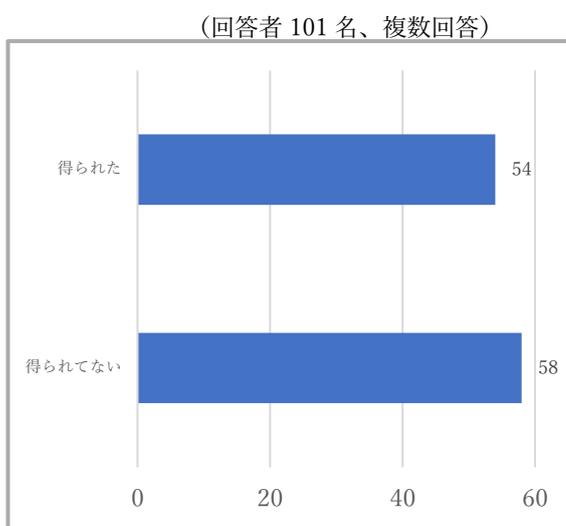
しかし望む仕事を得られなかった人は約半分になる[図 14]。

望む仕事を得た人の方法は indeed・キヤスター・wantedly・広報誌・タウンワーク・富山情報・しゅふジョブ・アデコ・テンプスタッフ・新聞広告・Quot・パソナ・とらばーゆ・リクナビ派遣などの「求人媒体から」17名、「転勤先での人とのつながりから」16名、「転勤前の人とのつながりから」13名となっている。人とのつながりから仕事を得た人も多いことがわかった[図 15]。

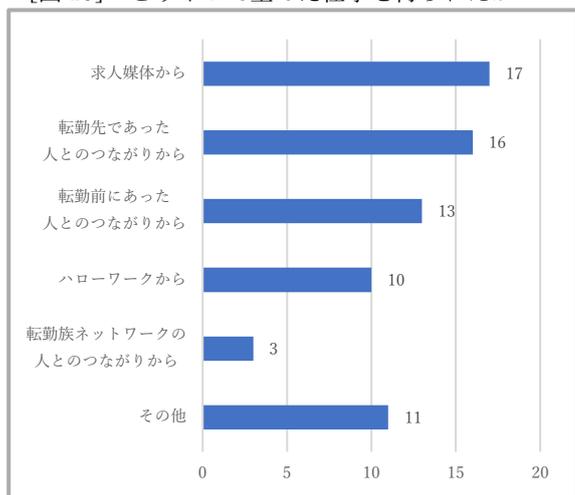
[図 13] 求めている仕事



[図 14] 望む仕事を得られたか



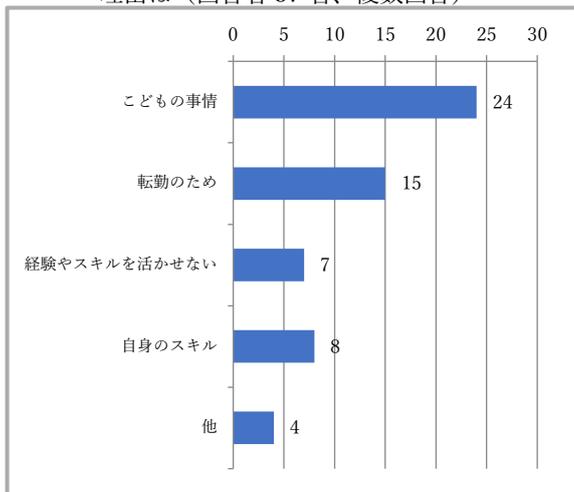
[図 15] どうやって望んだ仕事を得られたか



就業中で望んだ仕事を得られなかった理由は「こどもの事情」24名が最も多く、続いて「転勤のため」15名となっている[図16]。

[図16] 就業中で望んだ仕事を得られなかった

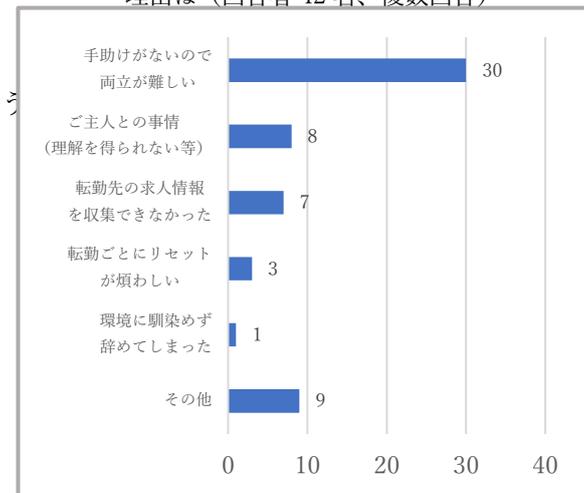
理由は（回答者37名、複数回答）



休職中で望んだ仕事を得られなかった理由は「手助けがないので、家庭と仕事の両立が難しい」30名ととびぬけて多く、回答者の3分の2が挙げている[図17]。

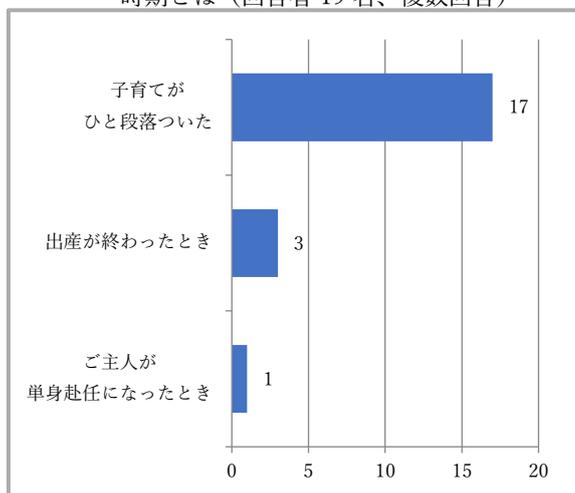
[図17] 求職中で望んだ仕事を得られなかった

理由は（回答者42名、複数回答）

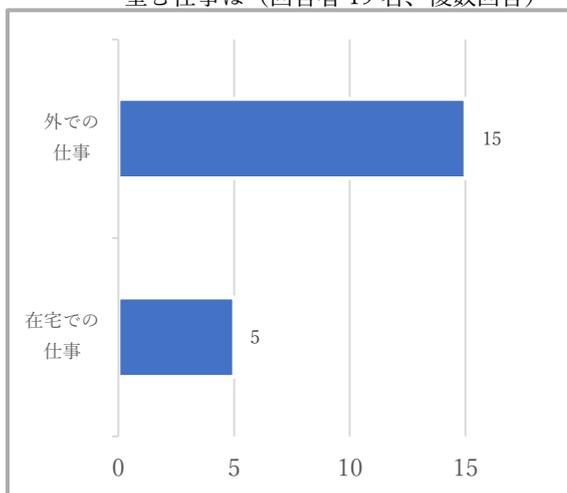


いま現在仕事をしていなくても、「子育てがひと段落ついたとき」[図18]に「現在の暮らしと両立できる外での仕事」[図19]を始めたいと考えている人が多い。しかし半数以上が「仕事の準備をしていない」[図20]状態。仕事の準備を行っている人では「求人情報の閲覧」[図21]と多くが情報収集を行っている。

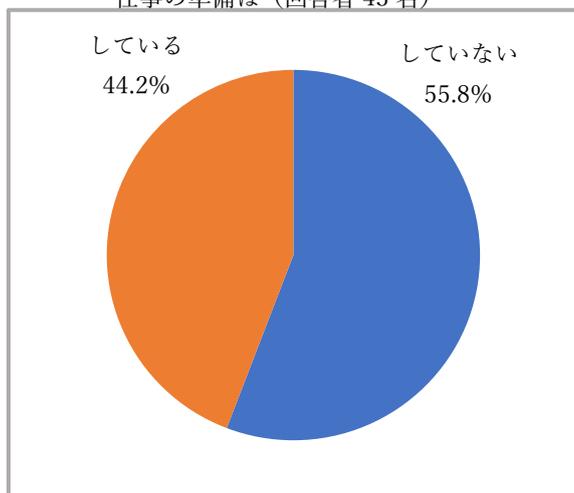
[図18] 時期がきたら仕事をしたい人の  
時期とは (回答者 19名、複数回答)



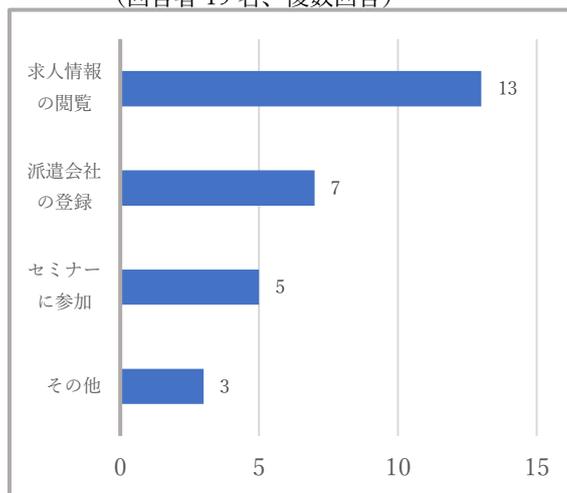
[図19] 時期がきたら仕事をしたい人の  
望む仕事は (回答者 19名、複数回答)



[図20] 時期がきたら仕事をしたい人の  
仕事の準備は (回答者 43名)



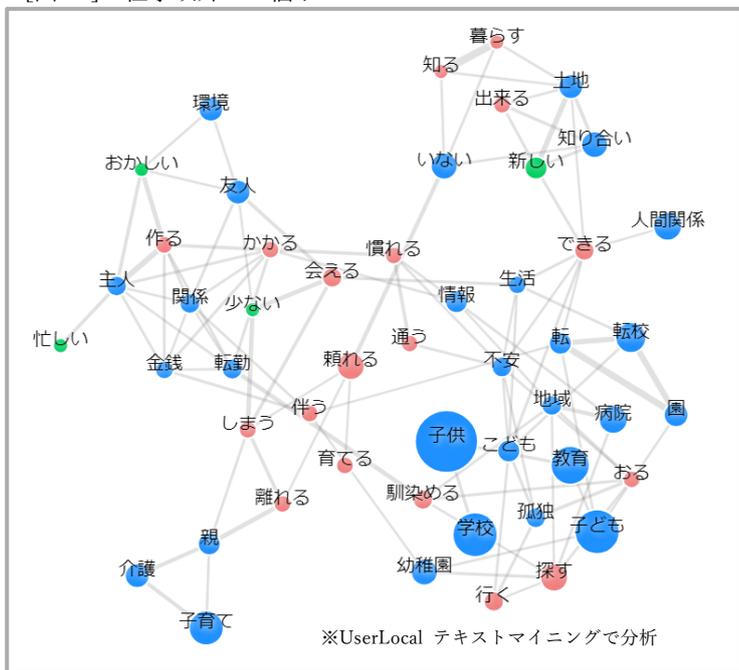
[図21] 仕事を始める準備の内容は  
(回答者 19名、複数回答)



[求めているもの]

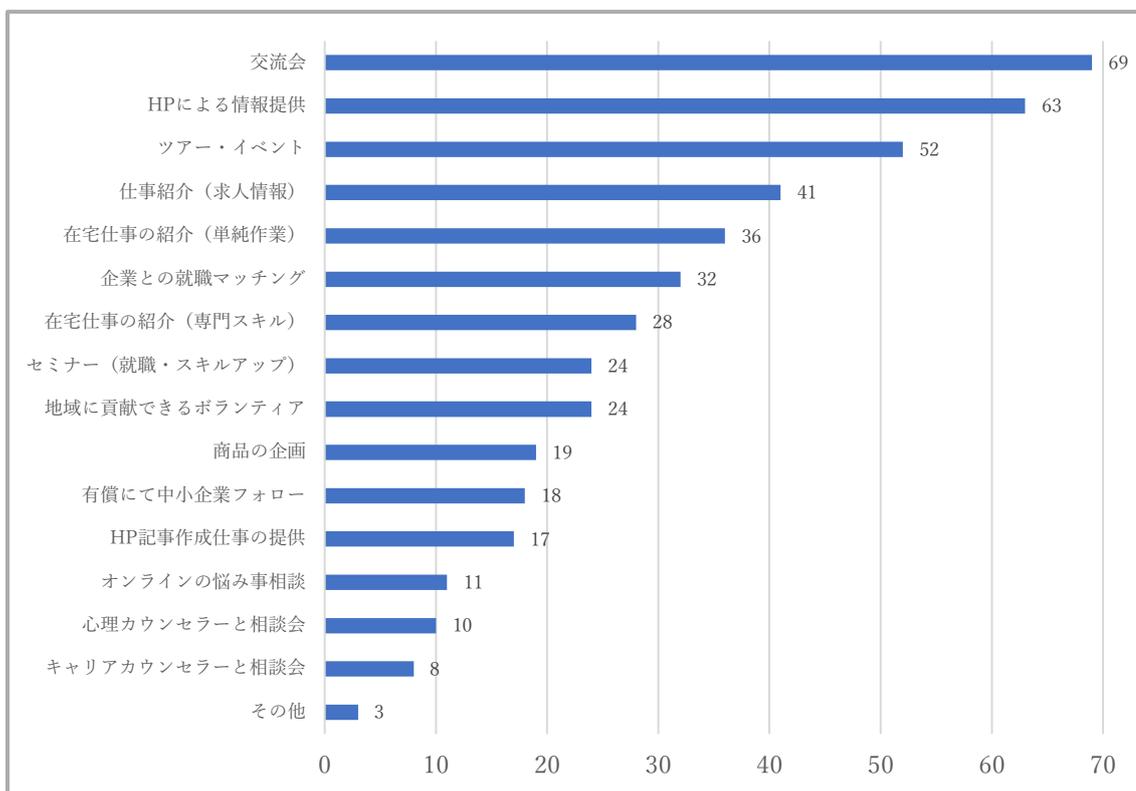
ご自身の仕事以外で転職について悩んだことを自由記述で3つお伺いしたところ、子ども関連（転校・進学・教育・病院・友人関係の悩み・子作りのタイミング）72件が最も多く、知り合いがいない・頼れる人がいない・人間関係など42件、転職先の環境に関連するもの（土地勘・独特の習慣・言い回し・運転・病院など）28件、住まい15件、その他主人との関係・お金・親の介護・定住のタイミング・将来設計などでした[図22]。

[図22] 仕事以外での悩み



転職生活の中で利用したいサービスは「転職族向けの交流会」69名と最も多く、続いて「HPによる情報提供」63名、「地域を知る・地域の人とつながるツアー・イベント」52名となっている[図23]。

[図23] 利用したいサービス（回答者101、名複数回答）



あると嬉しい情報を自由記述回答で伺ったところ、幼稚園・保育園・イベントなど子供に関すること 47 名、買い物・病院など地域に関すること 29 名、仕事に関すること 10 名、治安・準備・習慣など住宅・環境に関すること 9 名、生活に密着したもので、より詳細な情報が知りたいという回答が多かった[図 24]。

[図 24] あると嬉しい情報

